

高等学校 総合的な探究の時間『地方のチェンジ・メイカー育成プログラム』

※2025年3月のRESAS新システムへの移行に伴い、従前のマップ・メニューと内容が異なる場合があります。そのため、新システムが正式に稼働しますと、一部記載のとおり授業を進められなくなりますことをご了承ください。

1. 実施学年，教科など

単元 地方創生をテーマとした中学校での総合的な学習の時間、高等学校での総合的な探究の時間

2. 単元の目標

- ・課題発見，考察，分析，検証を通して論理的思考を身に付けたり，グループでの活動を通してチームワークやコミュニケーション力も身に付ける。
- ・教科の枠を超えて，生徒が社会に出てから必要とされる力や経験を養っていく。
- ・地方創生を「自分事」として考えて課題解決していく姿勢を養う。

3. 本単元で活用するRESASのマップ

人口マップ → 人口増減、人口の自然増減、人口の社会増減、将来人口推計、人口メッシュ、将来人口メッシュ
産業構造マップ 観光マップ まちづくりマップ → From-to 分析、滞在人口率、通勤通学人口、流動人口メッシュ
雇用／医療・福祉マップ → 一人当たり賃金、有効求人倍率、求人・求職者、医療需給、介護需給

4. 指導計画（8時間）

時	学習活動・学習内容	指導上の留意点，教材・資料
1	はじめに（導入）【スライド2～8】 授業の目的，目標を理解させながらQ1～Q4をグループワークもしくは個人ワークを行い，ターゲットとする自治体を設定させる。 1. 探究テーマとする都道府県・市町村を設定しよう	グループ・個人でワークを行っていく 地方について考え，興味関心や疑問点を持つようにする。 ・都道府県・市町村を選ぶ。
2	2. 地域について調べよう【スライド9～19】 選択した市町村について①～⑧について調べさせる。 3. テーマを選び探究テーマを設定しよう	興味・関心のある都道府県，そして市町村を選択する。 （グループの場合は意見を出し合い決定する。） 調べた8つのテーマから興味・関心を持った分野を選び，論題テーマを設定する。
3	4. 地域の魅力と課題を見つけよう【スライド20～28】 決定したテーマについて，より深い情報収集を行わせる。 ①魅力を発見する ②問題点を発見する ③魅力をブラッシュアップする ④問題点をブラッシュアップする ⑤問題点を深掘りしてみよう ⑥問題解決している地方自治体・企業の先行事例を探す	・テーマについて深い情報収集を行う。 ・ワークシートに沿って活動を進めていく。 ・5W1Hを意識しながら調べていく。 ・ピラミッドチャートを活用し情報を深め，焦点化を進める。 ・問題点を深掘りするため，ロジックツリーを使って，本当の問題点を追究する。
4	5. 問題点を解決するアイデアを考えよう【スライド29～31】 ①問題点を解決させるアイデアの創出とアイデアを広げる ②アイデアを整理しよう	・イメージマップを作成させ，アイデアを広げさせる。 ・ブレインストーミングを行う際は，多くのアイデアをグループで出し合う。他者の意見を受け入れることに留意すること。 ・イメージマップをもとにこれまで考えたアイデアを整理させる。
5	6. アイデアを検証しよう【スライド32～37】 ①アイデアを実現させるための方法（手段）が現実的に可能か調べる 以下の点について検証する。 ・具体的方法（手段） ・実現するための資金・場所・運営方法 ・実現するための壁（障害）問題点はないか？	・座標軸を活用し，アイデアを確認する。 ・ピラミッドチャートを活用し実現方法を深めていく ・ワークシートに箇条書きで挙げる

	②アイデアの証拠（根拠）を見つける ③アイデアを整理する	・RESAS などのデータを活用し証明する。また、ターゲットに対して需要があるかどうか検証する。 ・データ（グラフ・表）については、ワークシートにコピーをして張り付けるか、記載しておく。 ・ワークシートにまとめる ・アイデアによる効果（直接的・間接的・相乗的）も仮説を立てて検証する。
6	7. 企画書にまとめよう 【スライド38～51】 企画の流れを整理し、企画書にまとめる。	・企画を整理し、企画書の展開を理解し作成していく。
7	8. プレゼンテーション発表会 【スライド52～55】 プレゼンテーションに向けた準備 ①プレゼンテーションとはどういうものか？ ②プレゼンテーションの目的 ③プレゼンテーションを学ぶことの目的 ④良いプレゼンテーションができるポイントは？	・プレゼンテーション発表会に向けて、その目的と効果を学び、スライド資料の作成とプレゼンテーションの練習を行う。また、プレゼンテーションに必要な要素を見つけ、発表に反映させていく。
8	8. プレゼンテーション発表会 【56～58】 ⑤プレゼンテーション発表会の実施 ⑥プレゼンテーション発表会の振り返り ・生徒への発表だけに留まらず、生徒のアイデアの内容を踏まえて、関係する自治体の担当者や企業、有識者を招いて行う	・考えたアイデアについてプレゼンテーションを行う。実施後は、自己・他己評価を行う。 ※発表会後はこれに留まらず、自分たちの提案を実現する方法を考え、実現に向けた取り組みを継続させる。 ⑦授業全体の振り返りは自主課題とする。

5. 本時の学習（2／8時間）

	学習活動・学習内容	指導上の留意点、教材・資料
導入	前回の授業の振り返り 1分間、グループでターゲットとする自治体をどんな魅力ある地域にしたいか出し合う。	前回のワークシートを確認しながら思ったことを何でも出し合いイメージを共有する。
展開	地域について調べよう 【スライド9】 選択した市町村について①～⑧について調べさせる。 ○調べる方法を知る。 【スライド10】 自治体（選択した市町村）の情報を調べる方法を学ぶ。 ここでは、まずデータを見つける方法としてRESASを紹介する。 RESAS 以外の情報収集の方法も紹介する。 ・地図帳 ・地方自治体のHPなどインターネットを活用する ・アンケート ・インタビュー ・新聞・雑誌 ・文献 ○①～⑧の項目について各グループで役割分担をして、協力しながら調べていく。 【スライド11～18】	・グループ内で協力し、役割分担をして調べていく。（使用できる PC の数に応じて役割を与えるように促す。） ・RESAS の使い方については教師が教えなくてもよい。①～⑧までをまとめるワークシート内にある赤字に沿ってRESASを操作していけばデータを探すことができることを伝える程度でよい。（赤字の項目を選択すればデータが見つかる）なるべく教師が教えるのではなく生徒が主体的に学ぼうとする姿勢をサポートする。 ・①～⑧の各ワークシートにあるヒントを参考にするとRESASのどこに情報があるかわかることを紹介しながらグループで進めさせる。

①人口 【スライド11】

※2つの年を比較すること

- (1) ターゲット地の都道府県の総人口
- (2) ターゲット地の総人口
- (3) ターゲット地の人口増減率

②地理 【スライド12】

- (1) ターゲット地の地形的特徴
- (2) ターゲット地の気候の特徴
- (3) ターゲット地の交通網

③産業 【スライド12】

- (1) どのような産業が盛んであるか？
- (2) 第1次・第2次・第3次産業を比較してどのような特徴があるか？

④観光地 【スライド13】

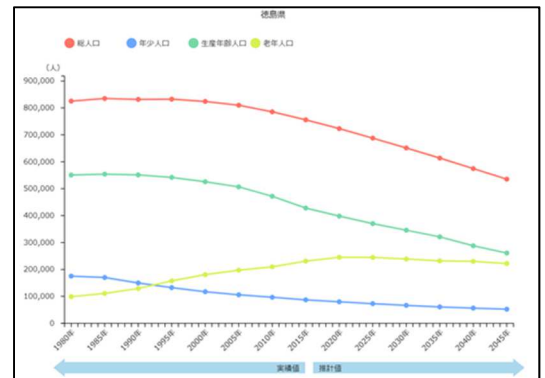
- (1) ターゲット地における観光スポットを挙げる
- (2) 観光客数の特徴
- (3) 宿泊数の特徴
- (4) どのようなところから訪問しているか？
(国内・外国)

⑤特産品 【スライド14】

- (1) 地域の特産品を挙げる
- (2) 地域の特産品の特徴

・(例) 徳島県の人口の推移

RESAS のトップページ＞データ分析支援＞分析対象自治体を選択＞分析テーマを選択＝人口対策



・②については、地図帳やウェブの地図帳アプリを活用させる。

・地理の授業で履修した内容を復習させてもよい。

・RESAS の活用

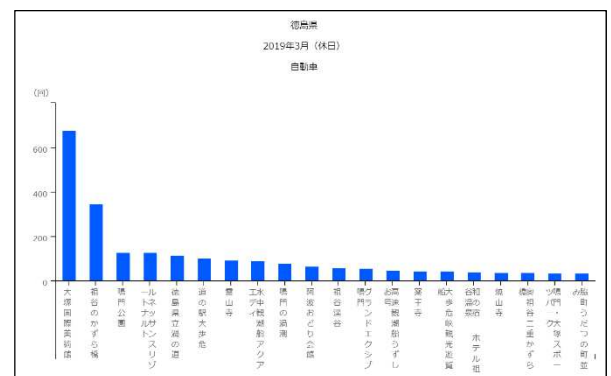
RESAS トップページ＞データ分析支援＞分析対象自治体を選択＞分析テーマを選択＝第二次・第三次産業

・RESAS の他にインターネットを活用し対象の自治体のホームページや紹介サイトから情報を収集する。

・インターネットを活用し、対象の自治体のホームページや観光案内サイトなどから情報を収集する。

・RESAS のトップページ＞メインメニュー＞国内 or 外国人＞目的地分析など

(例) 徳島県・観光マップ・目的地分析



・インターネットを活用し、対象の自治体のホームページや観光案内サイトなどから情報を収集する。また、知っている特産品があれば出し合う。

・特産品の特徴についてグループで話し合いまとめる。

	⑥雇用 【スライド15】 (1) ターゲット地の都道府県の一人当たりの賃金 (2) ターゲット地の都道府県の有効求人倍率 ⑦医療・福祉 【スライド16】 (1) ターゲット地の高齢化率 (2) ターゲット地の都道府県の病院数 (3) ターゲット地の都道府県の医療需要と医療供給 (4) ターゲット地の都道府県の介護需要と介護供給 ⑧公共事業の状況・公共施設の利活用 【スライド17】 (1) ターゲット地の公共事業の現状 (どんな道路・施設などが建設中であるか?) (2) ターゲット地の公共施設的具体例 (例) コンベンションセンター, アリーナ (3) ターゲット地の公共施設の利用状況 (例) Jリーグやプロ野球のキャンプ地 (4) 公共施設の利活用の特徴(商業・観光への効果) 3. テーマを選び探究テーマを設定する 【スライド18】 2. の①～⑧8つのテーマから興味・関心を持った分野を選び探究テーマを設定する	・RESASのトップページ>雇用／医療・福祉マップ>一人当たり賃金, 有効求人倍率, 求人・求職者 ・RESASのトップページ>人口マップ>人口増減, 人口の自然増減 RESASのトップページ>雇用／医療・福祉マップ>医療需要 RESASのトップページ>雇用／医療・福祉マップ>介護需要 ・インターネットを活用し, 対象の自治体のホームページや観光案内サイトなどから情報収集する。 ※もし, 対象の自治体に訪問できる場合は, フィールドワークを行うことでより実態を把握することができる。 ・グループ内で①～⑧までで調べた内容を見直し, 興味関心を持ったり, とくに疑問を感じたりした分野をグループで1つ選ぶ。もし, 複数選択したい場合は, その中でもメインとする分野を選び, その他の分野については, メインの分野に関連付けさせて今後の活動につなげていく。 ※1時間では①～⑧まですべて調べることはできない場合は, 教師が①～⑧の中からいくつか選んで調べさせたり, 時間内に終わらない場合は, 課題として自宅で調べさせたりするなどの対応をとることも可能である。
まとめ	振り返りと次回の確認 ・選択した分野を確認すると同時に, より深く情報収集するために必要なことを話し合う。	・もっと知りたい情報や気づいた疑問などをワークシートに書き留めそれを基に次回の授業につなげていく。

6. 本時(または本単元)でRESASを活用する意義

本授業案は, プレゼンテーション発表会をゴールとせず, 生徒のアイデアを県庁, 市役所の企画政策課などと連携し実現化に向けた取り組みを行うことが望ましい。そのことで生徒の意欲が高まり, 社会とつながるより効果的な授業となると考える。まず, 本授業案のオプションとしては, 第3時に選択した自治体でのフィールドワークを行うことでデータだけにとらわれない真の魅力や問題点を発見する機会になると考える。また, 外部と連携したワークショップやディスカッション, 最後のまとめ・表現でも, パネルディスカッションやシンポジウム, 提案会を外部と連携して実施することもできる。その場合は, 2時間から6時間のフィールドワークを追加することで計10時間から14時間のプログラムとなる。さらに, 本授業は7時間を基準としているが, 年間の取組みとして実施することも考えられる。特に, 第3時から第7時については, 各1時間ずつでの活動では深い情報収集やアイデアを深めることは難しい。ここについては, 生徒への自宅での課題や年間計画として授業を組める場合は, 生徒の進捗状況を見ながら調整し時間をとることで効果的である。また, 第7時のプレゼンテーション発表会の前に, 外部との連携の時間を取り, 有識者の方とのディスカッションを行うことで提案をより深まり実現性を高めることに繋がる。さらに, 本プログラムはプレゼンテーション発表会をゴールとせず, 実現させることを追究し, 地元自治体やOB・OG企業に実践の場を提供していただく, またはクラウドファンディングを行うなどでより充実した活動になると考える。実践まで行うことでPDCAサイクルを回すことができ, 身につく能力は飛躍的に高まることが期待できる。